ご来場アンケートプレゼント!
ストレスリリースグッズがもらえます。(1500個限定)
さらに、抽選で福島県産品が当たります。どうぞアンケートにご協力ください。

ご招待状
研究開発、生産技術、購買管理担当者様へお渡しください。

第13回 医療機器設計・製造展示会&最新技術セミナー

メディカルクリエーションふくしま2017

Medical Creation Fukushima 2017

国内外より200以上の企業・団体が出展

医機連 JFMDA

"芽ばえ"から"実り"へ
～ふくしまから繋がる医療機器ネットワーク～

入場無料

当社があなたをご招待いたします
メディカルクリエーションふくしま実行委員会

開催日時 2017 10/25(WED 水)・26(THU 木)
10:00～17:00(26日は16:00まで)

会場 **ビッグパレットふくしま**(福島県郡山市)

主催 メディカルクリエーションふくしま実行委員会
共催 (一社)日本医療機器学会 (公財)医療機器センター

同時開催 ふくしま医療機器開発支援センター試験担当者向け見学会 要予約

平成29年
10月25日(水)

限定30名
(試験担当者又は開発担当者)

申込方法
下記URLにてご案内いたします。
http://fmddsc.jp/information/

往復バス
ビッグパレットふくしま発着

出展分野
原材料(金属・非金属・樹脂・新素材)/金属加工/プラスチック加工/工具・マシンツール/コンポーネンツ/接着・接合技術/フィルター・不織布・テープ/チューブ・パイプ/成形技術/ロボット技術/3D技術/組立て・自動化/ソフトウェア/OEM・受託製造/印刷・ラベル/梱包・パッケージング/表面・めっき処理/センサー・計測機器/電子部品・電子機器/大学・研究機関/支援機関・官公庁/医療機器メーカー/医療関連製品

企画展示コーナー
●整形外科関連ゾーン
整形外科に関する製品・部品・部材がご覧頂けます。

●ロボットゾーン(医療施設用・介護支援用ロボット)
ロボットを体験していただくことができます。

委員長の挨拶
医療機器設計・製造展示会&最新技術セミナー「メディカルクリエーションふくしま」の開催につきましては、関係業界の皆様の温かい御支援、御協力を賜り、今年で第13回目を迎えることとなりました。心より御礼申し上げます。

本展示会は、新たな医療機器を開発及び製造するためには、中小ものづくり企業が有する優れた技術の活用が重要であるとの認識から、開催当初はこれら技術の発信に重点をおいておりましたが回を重なる度、より具体的なビジネスマッチングを求める声が高まり、現在はものづくり企業の特徴ある製造部品や技術の展示と医療機器メーカーによる最新医療機器の展示を同時に行うとともに、各種セミナー等を実施する形に定着しております。また、出展者数、来場者数は年々増加し、今回においても、国内外から200以上の企業・団体に出展いただくなど「医療機器ふくしま」のシンボルとして国内外から注目される展示会に成長してまいりました。

今年は「"芽ばえ"から"実り"へ～ふくしまから繋がる医療機器ネットワーク～」をサブタイトルに掲げ、ビジネスマッチングのための展示商談会に加え、医療機器の事業化や販路拡大に着目したオープニングセミナーを開催いたします。

また、中小企業の多彩な切削・加工技術が活躍する整形外科に関連する展示を始め、医療福祉用ロボット、産官学連携などのゾーン展示のほか、体験ブースや無料相談ブースなどの来場者サポート機能など、多彩で充実したプログラムをご用意しております。

さらに今年は、より来場者様の情報収集及びマッチング機会の創出を目指し、出展企業によるプレゼンの場の充実のほか、事前・当日・事後に企業情報を手軽に入手できるようアプリを公開いたします。

最後に、出展者様、来場者様にとって実りのある展示会になりますことをご祈念申し上げますとともに、皆様のご来場を心からお待ち申し上げます。

平成29年9月
メディカルクリエーションふくしま実行委員会
委員長 小林 利彰

メディカルクリエーションふくしま2017
セミナースケジュール
入場無料 事前申込制

webよりお申込みください。
メディカルクリエーションふくしま 検索
【HP】http://fmdipa.jp/mcf/seminar.html

MDIC更新ポイント ※MDIC更新ポイントセミナー(10点)
下記の《主催》セミナーを聴講することで、MDIC(医療機器情報コミュニケータ)更新ポイントが取得できます。(いずれか1セミナーのみ)
当該認定制度の詳細については、日本医療機器学会へお問い合わせ下さい。
【HP】http://www.jsmi.gr.jp/seminar/

25(水) 1日目(10:00～17:00)

11:00～12:30 コンベンションホールA 定員250名

主催 オープニングセミナー
医療機器の事業化加速と販路拡大
全国各地で盛んに取り組まれているものづくり企業や新規参入企業への支援について、ニーズとシーズのマッチングもさることながら、販路を見据えた事業化の加速が大きな課題となっています。
そこで、行政機関、金融機関、支援機関の各機関におけるこれまでの取組と現状を講演頂き、今後、中小企業に求められる方向性について、販路を中心に討論頂きます。

●座長 (一財)ふくしま医療機器産業推進機構 理事長 **菊地 眞**氏
●講演者 (株)日本政策投資銀行 企業金融第6部 ヘルスケア室 室長 **青山 竜文**氏
経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課 国際展開推進室 課長補佐 **長田 かおり**氏
(独) 中小企業基盤整備機構 シニアアドバイザー **南 勇**氏

13:00～15:00 コンベンションホールB 定員100名

併催 福島県健康ビジネス創出支援事業シンポジウム
基調講演【福島でもできる健康ビジネスのヒント】他、健康ビジネス事例発表3件
福島県では、今後著しい成長が見込まれる健康ビジネスの市場を県内企業の皆様が獲得する支援を行っており、今回その一環として、ビジネスの成功の秘訣などを講演頂くシンポジウムを開催します。健康ビジネスへの新規参入をご検討されている県内企業の皆様、必見です!

●講演者
○**基調講演** 「福島でもできる健康ビジネスのヒント」
村田アソシエイツ代表、東北大特任教授 **村田 裕之**氏
○**事例発表**
(株)オー(体内時計調整による睡眠改善サービス)
資生堂ジャパン(株)(高齢女性を活気づける化粧療法)
(株)アルコップ(IOTを活用した高齢者介護サービス)
※以上、予定

14:30～16:00 展示ホール内特設ステージ 定員100名

併催 海外展開セミナー
海外企業とビジネスしてみませんか!!
福島県では、ドイツNRW州政府やタイ政府と覚書を締結し、関係企業の支援等に取り組んでいます。今回、県が招聘した両国の関係企業等が登壇し、海外企業とのビジネスの魅力をお伝えします。ぜひ、ご期待ください!

○ドイツNRW州
ark Industrie AG(アルク インダストリー社)、ITP GmbH(アイ ティー ピー社)、Business Coaching Krause GmbH(ビジネス コーチング クラウゼ社)、MR:comp GmbH(エム アル コンプ社)、Zoz GmbH(ツォーッツ社)、NRW.International GmbH
○タイ
タイ科学技術省等関係機関(調整中) ※以上、予定

26(木) 2日目(10:00～16:00)

10:30～12:00 展示ホール内特設ステージ 定員150名

主催 最新技術・産学官連携セミナー
整形外科分野における最新技術&産学連携事例紹介
低侵襲によるQOLの向上が求められる現代の医療において、整形外科分野における先進機器及び先進技術による「最小侵襲手術」の取組みと、また実際に医療分野において産学連携の経験を多くお持ちの企業様から産学連携の事例紹介を頂きます。

●講演者 公立大学法人 福島県立医科大学 医学部 整形外科学講座 医学博士 **富永 亮司**氏
(株)マイステック 代表取締役 **金井 克也**氏

10:30～12:00 コンベンションホールA 定員150名

併催 ロボットセミナー
人支援ロボット開発と産学官連携の取組
福島県では、浜通り地域等の産業復興に向けた国家プロジェクトである「福島イノベーションコースト構想」が進められており、ロボット関連産業の集積が期待されているところです。
福島大学における人支援ロボット開発と産学官連携の取組を中心に、南相馬市における民間事業者の取組事例及び県の施策をご紹介します。

●講演者
【基調講演】
国立大学法人 福島大学 理工学群 共生システム理工学類 教授 **高橋 隆行**氏
【事例発表】
南相馬ロボット産業協議会 会長 **五十嵐 伸一**氏(YUBITOMA代表)
【県施策説明】
福島県商工労働部ロボット産業推進室 室長 **北島 明文**氏

13:30～15:00 コンベンションホールA 定員150名

主催 人材育成セミナー
血管疾患における診断及び治療機器
高齢者の増加に伴い、血管病を罹患する方が益々増加している現況において、血管疾患の診断及び治療に使用される医療機器開発について、更なる可視化・イメージング法へ向けた研究活動や医療機器の開発経験を踏まえご講演頂きます。

●講演者 国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 放射線部 **飯田 秀博**氏

13:30～15:30 コンベンションホールB 定員120名

同時開催 海外薬事規制対応人材育成セミナー
ISO13485 2016 改訂のポイント～悩んだときはどう解決すればよいか～
2016年3月1日に「ISO13485 2016」が発効になり、ISO認証を有する組織は3年以内に新システムへの移行が必要となっているほか、現在のQMS省令も、このISO13485 2016 に整合化されるため来年度4月から新QMS省令が施行される予定です。このような背景から、ISO13485 2016への対応は、すべての医療機器製造販売業者及び製造業者の喫緊の課題ですが、多くの企業から具体的にどのように取り組んでよいのか分からないとの声が上がっています。そこで、医療機器制度の設計に第一線で関わっておられる飯田先生を講師にお招きし、改訂のポイントと具体的な対応策について分かりやすく解説して頂きます。

●講演者 サクラ精機(株)グループ統括本部 担当部長 **飯田 隆太郎**氏
(一社)日本医療機器産業連合会法制委員会

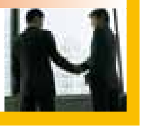
4つの機能で皆様をサポート!

1. 製品(部品・部材)や技術を探す **コンシェルジュ**

2. PMDAを始め専門機関による **無料相談**

3. ものづくり企業の未来を担う **求人情報**

4. 企業プレゼンや名刺交換会による **ビジネスマッチング**



メディカルクリエーションふくしま実行委員会
事務局/一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構
〒963-8041 福島県郡山市富田町字満水田27番8 ふくしま医療機器開発支援センター内
TEL:024-954-4014
E-mail:mcf@fmdipa.or.jp